

●花桃、桜など、春の花をご紹介します

今年は暖冬のため、公園の花も軒並み例年より早い開花となっています。早めの春を満喫しましょう！

○例年より2週間ほど早い開花となった「花桃」

●新型コロナウイルスの影響で、残念ながら「古河桃まつり」は中止となってしまいましたが、花桃は順調すぎるぐらいに元気に咲いています。

公園には主に5種類の花桃がありますが、一番先に見頃を迎えるのは「寒白」です。園内に数本ですが、純白の花が良く目立ちます。次いで、全体の約8割を占める「矢口」、低木の寿星桃、1本の木に紅白の花がせめぎ合う「源平」、最後に菊の花に似た花弁を持つ「菊桃」へと続いていきます。



●菊桃
(菊に似た花)



▲源平
(紅白の花)



コブシ



④ヤマザクラ



③ヒガンザクラ



②カンヒザクラ

●花の場所は大体の目安です。印の場所以外にもありますので、てくてく探してみてください。

○園内を彩るたくさんの花

●春の公園は、その他の樹木、草花もたくさん花を咲かせます。白い花が見事なコブシは、中山台ほか園内に多くあります。桃林から徳源院跡への園路沿い、白い釣り鐘型のかわいい花を付けているのは「スノーフレーク」です。桃林の北東と民家園に1本ずつある「スモモ」は、白く可憐な花をたくさん咲かせます。民家園を内側から囲む「乙女椿」は、スイーツのようなピンクの花がキレイです。



⑦スモモ



⑥乙女椿



⑤スノーフレーク

●濃いピンクの黒川矢口

・矢口よりも色の濃いものは黒川矢口という種類です。

★寿星桃

(低木)



黒川矢口

○「桜」も綺麗です

●実は桜も多くあります。お馴染みの「ソメイヨシノ」は駐車場や管理棟前、芝生広場西側等に綺麗に並びます。この機会に公園南エリアにも是非足を運んでください。数は多くありませんが、早咲きのカンヒザクラやヒガンザクラ、花と葉が同時に開くヤマザクラなども見られます。賑やかな北側に比べ、同じ公園とは思えないほど、のんびりと時間が流れています。



オオアラセイトウ

○いろんな名前を持つ野草

●春にあざやかな花を咲かせる「オオアラセイトウ」。中国原産で、三国志に登場する諸葛孔明

が広めた伝説があることから「ショカツサイ」という別名もあります。また一般的には広く「ムラサキハナナ」とも呼ばれています。菜の花と同じアブラナ属の植物で、種子からはアブラナと同様に油も採取できるそうです。虚空蔵様前の花桃の足元や、茶畑東側などに群生していて、とても綺麗ですよ。

●あざやかな花に囲まれ、心地よい春の公園。てくてく歩いて春を感じてください！

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索